



宮本 久雄 (MIYAMOTO Hisao)

東京純心大学看護学部 教授
東京大学名誉教授

東京大学文学部哲学科卒業。
学術博士 (東京大学)。

東京大学文学部哲学科卒業後、カナダ・オタック神学大学、エルサレム聖書学研究所、パリ・カトリック大学 (パリ第IV大学) などを経て、東京大学へ奉職 (2007年3月退官)。上智大学神学部教授を経て、2015年4月より現職。

ヘブライ・キリスト教思想と哲学を二つの柱として、アウシュヴィッツに象徴される現代の根源悪にどう応えてゆこうかと模索し、「エヒエロギア」を現在構築中である。

「エヒエロギア」に関する主な著書として『福音書の言語宇宙』(岩波書店、1999)、『他者の原トポス』(創文社、2000)、『存在の季節』(知泉書館、2002)、『他者の甦り』(創文社、2008)、『旅人の脱在論』(創文社、2011)、『ヘブライ的脱在論』(東京大学出版会、2011) などがある。その他、編著として「シリーズ物語り論」(I、II、III、東京大学出版、2007) など、他多数。